

# 希望

チューリッヒ日本人学校便り

平成 29 年 5 月 29 日発行

第 8 号

編集発行 鈴木史良

## ウスターの風景にとけこんで

—— 感性のアンテナをいっぱい広げて描いた写生大会 ——

雲一つない青空に恵まれた5月26日(金)、4校時から写生大会を実施しました。この日は現地校が休日なので、体験入学の子どもたち6名も参加してのにぎやかな写生大会となりました。事前に各場所を選んで子どもたちは、それぞれウスター城付近と小高い丘の上にある公園に向かいました。

私は小高い丘公園のグループについていきました。こちらのグループは小学3、5年生と中学2、3年生の計4名でした。公園に着くと、東側には雪をかぶったグラルナー地方のアルプスやティトリス山系の山々、西側にはなだらかな緑の丘陵の手前に青い水を湛えて横たわるグライフェン湖を眺めることができました。

眼下には緑の中に点在するスイスらしい家並みが見えました。葡萄畑とそれに続くなだらかな牧草地の向こうのウスター城へ目を移すと、こんもりとした木々に囲まれた古城が、真っ青な空を背景にさっそうと立っていました。子どもたちは360度の視界を思う存分楽しみました。そしてそれぞれ描く対象を決めると、草の上に敷物を敷いてすわったり、木の根元に腰かけたりしながら、気持ちよさそうに絵を描きはじめました。ウスター城付近で描いていた子どもたちは18名。城をメインに描いている子ども、教会の尖塔を描いている子ども、それぞれが自分の選んだ対象を画用紙の中に取り込もうと集中して筆を動かしました。完成が楽しみです。





## 地元の店にポスター掲示依頼

先週、日本人学校運動会PR活動、及び地域住民との交流の場として、運動会ポスターを店に掲示してもらえよう、独語クラス別にそれぞれの場所をお願いに回りました。学校近辺の店舗や公共施設合わせて16か所です。事前にドイツ語授業の時間に、子どもたちがどのように依頼したらよいか、話しかける練習をしました。いざ本番の日、店に入った最初は、グーテンモルゲンと挨拶し、**イッヒ ビン シューラー アン デア ヤパーニッシェン シューレ イン ウスター**（私はウスターにある日本人学校の児童生徒です。）**マイン ナーメ イスト ○○**（私の名前は○○です。）と自己紹介しました。その後、ポスターをよく見えるところに貼ってください、運動会を見に来てくださいというお願いをしました。

私は中学生5人のグループに付き添いました。それぞれ担当する店が決まっていました。担当する店に入る前は大緊張……。 「さあ、いくぞ。」と心を決めて店内に入り、ドイツ語での説明を始めました。最初は真剣な顔つきで聴いていた店のかたも次第に笑みがもれるようになり、最後は笑顔でポスターを受け取ってくれました。地元の方がたはみな温かい眼差しで子どもたちの活動を見守ってくれました。



なごやかに店のかたと交流する中学生

### 6月の主要予定

**ホームページでの公開はしておりません。ご了承ください。**